

NMR シンポジウム

—環境応答の構造生物学—

日時: 2024年 2月 26日(月) 13:30~16:45

場所: 東京薬科大学八王子キャンパス 教育5号館 5102講義室
〒192-0392 東京都八王子市堀之内1432-1

13:30-13:35 はじめに

13:35-14:00 三島正規 (東京薬科大学・教授)

「光遺伝学ツール開発に資するシアノバクテリオクロムの構造解析」

14:00-14:35 伊藤隆 (東京都立大学・教授)

「In-cell NMR を用いた Keap1-Nrf2 系の解析」

14:35-14:55 ————— (休憩 20分) —————

14:55-15:30 嶋田一夫 (理研／広島大学／東京大学・名誉教授)

「核磁気共鳴法による膜タンパク質の *in situ* 機能解明」

15:30-16:05 甲斐荘正恒 (東京都立大学・名誉教授)

「超分子複合体研究に向けた緩和制御 SAIL 法開発の現状と展望」

16:05-16:40 伊倉光彦 (トロント大学・教授)

「Structural basis for calcium signalling: A matter of life or death」

16:40-16:45 おわりに

世話人: 東京薬科大学薬学部 分子生物物理学教室

永江峰幸(nagae@toyaku.ac.jp)

武田光広(takedam@toyaku.ac.jp)

TEL: 042-676-3243

後援: 旭硝子財団

NMRシンポジウム

2024
2/26 月
13:30～16:45

環境応答の構造生物学

会場

東京薬科大学 八王子キャンパス

教育 5 号館 5102 講義室

〒192-0392 東京都八王子市堀之内1432-1

※ご参加に際して、事前の申込等は不要です

講演者

核磁気共鳴法による膜タンパク質の*in situ*機能解明

嶋田一夫

理研／広島大学／東京大学・名誉教授

Structural basis for calcium signalling: A matter of life or death

伊倉光彦

トロント大学・教授

超分子複合体研究に向けた緩和制御SAIL法開発の現状と展望

甲斐荘正恒

東京都立大学・名誉教授

In-cell NMRを用いたKeap1-Nrf2系の解析

伊藤隆

東京都立大学・教授

光遺伝学ツール開発に資するシアノバクテリアクロムの構造解析

三島正規

東京薬科大学・教授

世話人

東京薬科大学 薬学部 分子生物物理学教室

永江峰幸(nagae@toyaku.ac.jp)

武田光広(takedam@toyaku.ac.jp)

TEL:042-676-3243

後援 旭硝子財団